

タダノ、シンガポールに部品供給拠点

Edited By LogisticsToday On 2018/10/18



タダノは18日、日本通運グループの協力を得て、海外向け部品販売のデリバリータイムの短縮を目指し、11月からシンガポールに部品供給拠点「タダノ・シンガポールパーツセンター」を設立する、と発表した。

現在、海外向け部品販売については、神戸市の「タダノ・グローバルパーツセンター」から世界中へ部品を供給しているが、さらなるデリバリータイムの短縮が求められていた。

そこで、日通商事シンガポールとシンガポール日本通運の協力を得て、タダノ・シンガポールパーツセンターを設立することとした。日通グループのシンガポール拠点に部品を一定量ストックし、シンガポールから直接顧客へ部品を届けることで、よりスピーディな部品供給が可能となる。

タダノ・シンガポールパーツセンターの建物はシンガポール日本通運が運営している倉庫を利用。倉庫作業など物流業務はシンガポール日本通運に、また発送手段の手配や輸出書類の作成など商流に関する部分は日通商事シンガポールに、それぞれ委託する。

■新拠点概要

名称：タダノ・シンガポールパーツセンター

使用延床面積：4750平方メートル

開始時期：2018年11月

利用対象：日本を除く世界各地の代理店

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/328092>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.